

科目名称	災害看護と国際協力	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 後期	1	30
担当教員	野本 崇 吉田 昌弘 木本 涼	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

災害医療、災害看護に必要な基礎知識を得て、災害サイクルに応じた活動現場別の看護活動を理解できる。また、グローバルな視点から、国際保健医療における看護の役割を考える。

【2】学習目標

1. 看護職者に求められるグローバルな視点がわかる。
2. 災害医療・災害看護の定義と役割、活動に必要な基礎知識を理解できる。
3. 災害サイクルに応じた活動現場別の看護活動を理解できる。
4. 災害発生時の社会の対応や組織間の連携、防災・減災のための活動を理解できる。
5. グローバルな視点から、国際保健医療における看護の役割を考えることができる。
6. 災害看護・国際看護についての関心を高めることができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	災害医療の現場の基礎知識	講義
2	災害看護の基礎知識	講義
3	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護①	講義
4	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護②	講義
5	地震災害看護の展開①	講義
6	地震災害看護の展開②	講義
7	被災者特性に応じた災害看護の展開	講義
8	災害とこころのケア	講義
9	国際看護学	講義
10	災害看護学・国際看護学における倫理・教育	講義
11	救護活動の実際①	演習
12	救護活動の実際②	演習
13	研究まとめ①	講義
14	研究まとめ②	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験 80%、演習 20%

【6】教科書

庄野泰乃 内木美恵 東智子:系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 3 災害看護学・国際看護学(第5版)
医学書院 2026(電子版)

【7】参考書

随時紹介

【8】受講生へのメッセージ

講義の内容により、担当講師が変わります。

災害はいつどこで起きるか分かりません。皆さんの身近な問題として捉え、災害発生時には、授業で学んだ看護を被災者の方に提供しましょう。また、災害時には自分自身も被災者となる可能性があります。落ち着いて行動できるように授業内容を復習してください。なお、自分のいる地域以外にも視野を広げて国際協力なども考えていきましょう。